

ピアソラ生誕100周年

ブエノスアイレスの四季

The Four Seasons of Buenos Aires



橋森ゆう希

ドミトリー・フェイギン

赤松林太郎

P i a z z o l a

2021 9.19 sun

第1回 開演13:30 開場13:00

第2回 開演18:00 開場17:30

Program

ミケランジェロ 1970

セ・ラムール

天使の死

孤独の歳月

エスクワロ

ル・グラン・タンゴ

ブエノスアイレスの四季

全席自由: 4,000円

株式会社PARADE(TEL 090-9213-1336)

チケットぴあ(Pコード 199338)

カンフェッティ <https://www.confetti-web.com/>

主 催: 株式会社PARADE

TEL ▶ 090-9213-1336 MAIL ▶ info@parade-kobe.com

後 援: 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会



橋森 ゆう希 Violin

3歳よりヴァイオリンを始める。8歳より辰巳明子氏に師事。第5回日本クラシック音楽コンクール最高位。第51回全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第1位(共に最年少受賞)。第1回宮崎国際室内楽音楽祭「アイザック・スター・ヴァイオリン講習会」等に全国から選ばれ最年少受賞。TV「新・題名のない音楽」「たけしの誰でもピカソ」にて特集が組まれるなど、幼少期より注目を集め。11歳でドイツ・ケルン音楽大学最年少特待生として渡独。名教授ザハール・ブロン氏に師事。「NAGANO国際音楽祭2006」にて優秀賞受賞。第13回及川音楽事務所主催新人オーディション第1位。併せて最優秀新人賞受賞。2007年、シュムエル・アシュケナージ氏の元、スカラシップを得て米国ルーズベルト大学Chicago College of Performing Artsに留学。同大学にて同氏に師事。2011年、同大学を卒業。2009年、CCPA Concerto Competition優勝。シカゴにて、CCPAオーケストラとブームスのコンチェルトを二夜連続共演。2010年、南米コロンビア共和国・国立ロス・アンデス大学の招聘を受け、首都ボゴタにてリサイタルを行う。米国にてラテングラミー賞授賞式に出演し、C.サンタナやR.マーティンらと共に。2014年、オクタヴィア・レコードよりCDデビュー。アルバム「グランワルツ」をリリース。2018・2019年、世界的スター・サラ・ブライトマン、IL DIVOのジャパンツアーにてアソシエイトコンサートミストレスを務める。これまでに東京交響楽団、東京ニューフィルハーモニック管弦楽団等とソリストとして共演。ラ・フォル・ジュルネTOKYO等、国内外で数々の演奏会に出演。2019年より、エール管弦楽団コンサートミストレスに就任し、世界的デザイナー・コシノジュンコ氏との衣装コラボレーションや、人工知能AI作曲による作品を世界初演するなど、クラシック音楽の新たな楽しみ方を提案、インペイティブなコンサートを毎年開催している。又、盲学校等でのスクールコンサート出演や、ドイツ・デュッセルドルフにて学校建設プロジェクトを開催、この収益によりアフリカ西部ベニンに学校を建設するなど音楽を通じた国際交流も積極的に行う。現在、日本と米国を拠点に、ソロ活動、テレビ収録や録音、コンクール審査員を始め、(株)日本ヴァイオリン主宰スーパー・ソロ・アカデミーにて教鞭を執り、後進の指導にあたるなど、多方面で活躍中。



Dmitry Feygin Cello

ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母、ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェテルニコフ(現ボリショイ劇場常任)指揮により、チャイコフスキイ作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のチェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRINGフェスティバルやCARINTHISHERフェスティバル(奥)、カルマール・フェスティバル(仏)、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ、オレグ・カガン・フェスティバル(露、ナタリア・グッドマン主催)、モスクワ11月芸術祭などに出演する。'95年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。'99年にはロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演する。'06年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に、毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見・フェイギン・浩子(ピアノ)と連続出演している。最近では、小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクールの審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。2016年にシーベルト・アルベジオーネ・ソナタ他CDをリリース。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2020年20世紀無伴奏チェロ曲集「コダーリ、レーガー、ヴァインベルクCD」をリリース。現在東京音楽大学教授。



赤松 林太郎 Piano

第44回全日本学生音楽コンクール第1位、第3回クララ・シューマン国際ピアノコンクール第3位。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得。国内各地はもとより世界各国を公演で回る。ハンガリーのダヌビア・タレンツ国際音楽コンクールで審査員長を歴任し、近年は欧州各国の国際コンクールやマスタークラスにも多数招聘。洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、カシオ計算機株式会社アンバサダー。

